



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>

ぺったんぺったん！楽しいね♪



うま〜くつけるかな♪



こぐまもちつき大会

消防車体験！かっこいい！



うわ〜っ！のびるのびる！



新年のご挨拶申し上げます

令和が幕開けして初めてのお正月を迎えました。

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、新たな
気持ちで新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。昨年中は当福祉会に
対しまして、大勢の皆様へ深いご理解
とご協力を賜りましたこと厚く御礼
申し上げます。

今年で38年を迎えるこぐま福祉会
では、開園当初より利用者の皆様に寄
り添う支援に取り組んでおり、発達支
援・家族支援・地域支援を大切にして
います。多職種で子ども達の発達に寄
り添う「発達支援」。開園当初より行っ
ている保護者同伴通園や学習会を通
じての「家族支援」。子ども達の育ちを
考えたときに一番身近にいる家族の
理解が深まること、家庭や地域での
生活がよりスムーズになることにつ
ながると考えています。そして「地域
支援」では、縦横連携の中で利用者の
皆様を取り巻く福祉、医療、教育等、
地域とのつながり支えていくことが
大切だと考えています。子どもへの支
援から始まった当福祉会では、こうし
た考えを基に、現在では、利用者様に
合わせた子どもからおとなの支援に
力を入れて取り組んでいます。

令和2年、皆様が利用したい施設を
目指して、皆様の笑顔に向けて取り組
んでいきたいと思っておりますので、
どうぞよろしく願います。

皆様にとってすばらしい年になり
ますようお願いいたします。

(ゆう園長 林)

心の窓



外来
つじの
辻野さん

僕は車いす陸上を始めて6年位になります。

初めて車いす陸上を知ったときは車いすでも陸上というスポーツができるのかとびっくりしました。

車いす陸上の競技では競技用の「レーサー」という3輪のタイヤの車いすに乗って走ります。

レーサーは車いすとはちがってスピードが速いのがとても楽しくて、大会などにできるようにになると、そのたびに少しずつタイムが上がっていくのがすごく嬉しかったです。

今年3回目となる『福岡マラソン』と初めて出る『大分国際車いすマラソン』のハーフに挑戦することを決め練習してきました。

福岡マラソンでは5.2kmを20分切ることを目標に走りました。目標達成するには、僕よりスピードが速い同じ年の友達でいつも一緒に車いすスポーツの練習をやってる柗太についていけばなんとかかなると思いきスタートと同時に後ろにつき追いかけるとにしました。

途中から追いつくことはできなかったけど無事に完走して目標タイムには少し届かなかったけど、ジュニアの部で、3位になることができました。

それから翌週は初めて出る大分国際マラソンのハーフに挑戦でした。この大会では完走を目標に走ることにしました。

でも練習でハーフの距離を連続で走ったことがなかったのあまり自信がなかったけど沿道からの「ハルト頑張れー」や自分より小さい子からの応援でアツプダウンなどとてもきつかったけどハーフの距離を思っていたより速いタイムで完走することができました。

来年は、今年よりもタイムを縮めたいと目標ができたのでたくさん練習してまた挑戦したいと思います。



こぐまLINE



生活支援員
べっが
別府

こんにちは。就労移行支援事業所 Work Step の別府と申します。こぐま福祉会に入職し、3年目です。障がい者支援の仕事に関わり35年が過ぎました。最初は特別支援学校に着任し、13年間在職して九州を離れましたが、その後九州に戻り、小学校の特別支援学級の担任や、中学校の支援員をしていました。学齢期の子どもの支援を経験していく中で大人の支援に関わりたいと思い、こぐま学園にお世話になることになりました。

振り返ると、初めて特別支援の仕事に就いた当初は知識も経験も足りず、一から鍛えられました。上司からは「子ども達の命を預かっていると思いなさい」と厳しく指導を受けました。子ども達の指導でへとへとになりながらも、触れ合った子ども達の笑顔や声は今でも鮮明に覚えています。その後の私の人生に大きく影響を与えてくれたのは何より、その子ども達です。子ども達は何か障がいがあるうとも私達と同じように悲しいし嬉しいし、私と違いはないじゃないかと感じたその感覚が私を現在まで引っ張ってくれています。

これまで様々な方の喜びや悩みにも沢山触れてきました。うまくいかない時は、どうしてだろうと色々な方法を考えます。今まで成長を身近に見る機会も多くありました。その度に私はいつも幸せを貰っているなあと感じています。先日、ある利用者の方が「自分の工賃の中から兄弟にお小遣いをあげてるんだ」と笑顔で話してくれました。学生の頃から知っている方ですが、最近では行動にも自信が出てきて、より成長を感じています。「自分に出来ることがある」と充実感を得ることが彼を成長させていると思います。

障がい者福祉の実践者である糸賀一雄さんは、「この子らを世の光に」と声を上げ、「自己実現」はどんな障がいがあるうと全ての人の必要であることあるうと伝えていきます。誰でも自分が何を伝えられています。誰でも自分がこの世で役割があると感じることは何より幸せや自信になります。周りの人と関わりながら、そこに居場所を見つけていくこと、「自分出来る何かがある」と思えることは自己実現の第一歩ではないでしょうか。

「できないことがたくさんあっても、できることだってある。できることを生かせば、自分の生きる道はある」これはある発達障がいを持つ方の著書の中の言葉です。どんな人でもその人にしかできない役割や仕事があります。こうあるべきだと型にはめるのではなく、柔軟な視野でその人が生かせる、幸せに繋がるような就労支援を目指し、取り組んでいきたいと思っています。

べあクラブ スポーツ大会



11月2日(土)に「第10回べあクラブのスポーツ大会」を開催しました。大会種目は玉入れとパネル絵合わせ競争を行いました。参加された皆様が真剣に競技に取り組み、大変白熱した大会となりました。その後、懇親会を行い参加者全員で食事を取り、レクリエーションのカラオケでは皆様笑顔で楽しまれていました。(生活支援員 井口)



第4回マラソン大会!

11月8日(金)小郡市の陸上競技場をお借りして「ゆう・はぐ・しろくま」のマラソン大会を行いました。お天気にも恵まれ、青空の下で広い広いトラックを子ども達がそれぞれの方法でゴールを目指します。一生懸命走ってゴールした子ども達はまだひとつ成長した姿を見せてくれました。そして、子ども達のチャレンジと勇氣に感動をもらいました。

これからもご家族と一緒に子ども達のチャレンジを応援しながら、子ども達みんなの「できた!」を感じていきたいと思います。(マラソン大会係 古賀)



♪クリスマス会♪

12月20日(金)こども支援部のクリスマス会を行いました。今年も「ゆう・はぐ・しろくま」の年長児グループの子ども達が、大勢の前で堂々と合唱や合奏を披露してくれました。スタッフの元気いっぱいダンス、なかでも子ども達の大好きな「パプリカ」のダンスと一緒に踊って楽しみました。そしていよいよサンタさん登場!子ども達の目はキラキラ。サンタさんやトナカイさんといれあい、一緒にたくさん写真を撮りました。ご寄附で頂いたケーキもみんなで食べて大満足。嬉しそうな笑顔を見ることが出来ました。

ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。ご寄附ありがとうございました。(クリスマス会係 川野・加藤葵)

ご寄附ありがとうございます

- ・小郡市商工会様
- ・西日本新聞民生事業団様



尾久保研修所みんなの館 もちつき会

今年で14回目となる「みんなの館・もちつき会」が12月22日(日)に行われました。

朝から雨というあいにくの天候の中、たくさんのお客様、子ども達、そして多くのボランティアの方々に参加していただきました。厳しい寒さの中、餅をつく音やかけ声が響き、年末らしい光景でした。餅つきの後は、体育館でボランティアの方々のライブ演奏を聴きながら、参加者の皆さんと一緒に雑煮やぜんざいをいただきました。この日は、笑顔と笑いがいっぱいのにぎやかな館でした。

(尾久保研修所所長 佐藤)



祝・成人式

12月10日(火)、生活介護事業「愛らんど」・就労移行支援事業「Work Step」・就労継続支援B型事業所「Smile Work」の成人式をコミュニティ棟にて行いました。今年度は5名の方が成人を迎えられました。

成人式当日は、真っ青な空が広がる暖かな晴天で、穏やかにそして和やかに式が行われました。成人になられた利用者様の姿は誇らしく、いつもと違う表情がありました。祝辞、ワインでの乾杯に続き、スライドショーで生い立ちからこれまでの成長を見ながら、ご家族だけでなく、職員も感動していました。こぐま福祉会からの記念品贈呈や、新成人からご家族へ感謝を込めた花束プレゼントが行なわれました。

記念撮影では、利用者様の緊張も和らぎ、笑顔があふれていました。その優しい笑顔がいつまでも続くことを願っています。

(就労支援員 松本浩児)

成人おめでとうございます!



学会に参加してきました

11月16日(土)～17日(日)にかけて開催された「第6回日本小児理学療法学会学術大会」にPT2名が参加させて頂きました。普段の活動や取り組みについてまとめた2演題を発表し、たくさんの意見や感想を頂きました。本学会では、「FUN Photo Contest」も開催され、このフォトコンテストで、こぐま学園のマラソン大会の際に赤木七菜ちゃんのお父さんが撮影した木山璃津君の写真が大賞を受賞しました！こぐま学園の楽しい雰囲気が会場に来ていた参加者の方々に伝わった結果だと思えます。

(理学療法士 中村祐樹)



園内研修を行いました

11月29日(金)に第16回園内研修を『Enter a new era』新しいこぐま福祉会の幕開けぜよ！』というテーマで行いました。

それぞれの部署の取り組みについて、11演題の発表があり、特別講演では、『思春期の壁に直面して考えたこと』というテーマで当園ご利用の保護者である大坪美佳先生からとても貴重なお話しを拝聴させて頂きました。今回の研修を日々の療育につなげていきたいと思えます。

(研修委員 伊藤雄)

発達支援セミナーの報告

12月1日(日)小郡市文化会館にて「第12回発達支援セミナー」を開催いたしました。

今回は『肢体不自由児・者の療育について』をテーマに特別講師として北九州市立総合療育センター西部分所所長の佐伯満先生をお招きし、貴重なお話を拝聴する事が出来ました。

また、当園スタッフによる講演やパネルディスカッションでは参加者の皆様とともに活発な意見交換を行いました。今後も様々な内容のセミナーを企画して参りたいと思えます。

(セミナー委員 木下義博)

こぐま学園発達支援セミナー「実践コース」の開催

昨年引き続き、これまでの講義形式のセミナーに加えて、より具体的な支援に繋げて頂く事を目的に、受講者を20名に限定した「実践コース」を開催致しました。内容は『発達障害児に対する遊びを考える』と『肢体不自由・重症児者に対する摂食指導』の2つのテーマで、それぞれ複数回シリーズの実践研修を行いました。九州各地から多数ご参加頂き、とても熱心に受講されていました。このセミナーが受講者の皆様を通して、障害を持つ方々への支援に役立つ事ができれば幸いです。

(セミナー委員 木下義博)

就学学習会のお知らせ

当園ご利用の令和3年度就学予定のお子様の保護者の方を対象に就学学習会を行います。

◇第1回 2月14日(金)
「就学決定までの流れと現在の教育制度について」

◇第2回 3月6日(金)
「保護者による経験談」

◆時間 10時～11時30分

◆場所 小郡市総合保健福祉センター あすてらす



※担当より配布いたします。案内をご確認の上、申込用紙にご記入いただき受付までご提出ください。詳しくは担当スタッフ、又は相談員までお尋ねください。是非、ご参加ください。

(相談員 平田)

保護者学習会を開催します

当園を利用するダウン症候群を持つお子さまの保護者様を対象に言語聴覚士による『食事について』『コミュニケーションについて』のテーマで2回の学習会を開催します。

当園にはダウン症候群を持つお子様がたくさん利用されています。ダウン症候群特有の育ち方や関わり方をご家族の皆様にお伝えしていきたい、ご家族の方と一緒にお子様により良い支援を行っていききたいと考えております。

(理学療法士 伊藤かおり)

行事予定

1月 23日(木) 避難訓練
2月 14日(金) 第1回 就学学習会
15日(土) 避難訓練
Work Step セタマルシエ

3月 17日(月) 29日(土) はぐ・しろくま・ゆう 個別面談週間

4日(水) 避難訓練

6日(金) 第2回 就学学習会

10日(火) べあくクラブ 余暇活動

13日(金) ゆう お別れ遠足

27日(金) はぐ・しろくま・ゆう 就学お祝い会

28日(土) 4月1日(水) こども支援部

30日(月) 31日(火) 新年度準備のため休園

こぐま診療所 新年度準備のため休園

おとな支援部 新年度準備のため閉所



交流保育

1月 21日(火) あじさか保育園
2月 4日(火) あじさか保育園

※久留米天使こども園

3月まで実施(日程調整中)

